

## グループホームおさ・2階

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	0	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義をスタッフ全員で確認し、地域の中で生活が送れる様、「一緒にいる喜びを感じられる家庭（地域社会、スタッフと共に住む同士として）」を理念として掲げ地域住民との交流を図っている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月、スタッフ会議で理念に基づいたサービス提供が行えるか確認している。又、「一緒にいる喜びを感じられる家庭」の理念通り、入居者、スタッフが同じ空間に居ることで、一緒に喜びを感じたり、安心出来るようにしている。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	2ヶ月に一度、地域運営推進会議を開催し、ホームでの生活状況など、報告を行っている。また、疑問点など、その都度お伺いし、理解して頂いている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	民生委員、町内会との交流があり、近所の方が、野菜などを持って立ち寄り下さるなどの関係が出来ている。	0	
	5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭りや敬老会等に呼んで頂き、積極的に参加している。また、近所の保育所などへも訪問し、交流を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 と い の	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近所の中学生の職場体験を受け入れている。又、随時、ホームの見学、介護の相談を受け入れている。その他、防火訓練時には参加の呼びかけをしている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価で指摘された項目については、スタッフ会議で問題点として話し合い、達成すべき目標として、スタッフ全員が具体的な目標として認識し、日々のサービスに活かしている。	0	
		8 外 部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況、取り組んでいることなど、報告を行っている。講師を招き、御家族や地域の方と一緒に講習を行い、サービス向上に努めている。	0	
		9 外 部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事など、市職員、包括の方にお声かけをし、交流を図っている。	0	
		10 外 部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	スタッフ交代で研修に参加し、学んでいる。また、研修に参加したスタッフは、研修報告書を記入し、全スタッフが見るようにしている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	フロアごとに抑制廃止委員を決め、虐待の研修などに参加し、ミーティングにて見直し、理解を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	個別に十分な時間を取って説明している。重度化や看取りについては慎重に家族の意向を伺いながら、主治医と相談し、医療連携体制の同意書を得ている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活における利用者の言動から、考えや思いを分かるように努めている。その時の様子をスタッフ間で申し送り、話し合いながら対応している。又、各利用者に担当者が2人つき、より深く信頼関係が出来る様にしている。	0	
		14 外部評価8	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月担当スタッフが、家族宛に本人の現在の健康状態や生活状況を記入した通信及び金銭出納帳を送付している。通信は、ご本人の写真を取り入れ、視覚的に分かりやすく工夫している。他にも電話やメールで報告している。	0	
		15 外部評価9	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には地域運営会議や家族会で常に問いかけ、苦情相談窓口や第三者機関への連絡先も知らせている。又、玄関に「ご意見箱」も設けている。御家族から、苦情や要望があった場合は報告書を作成し、職員全員が目を通し、把握し、改善している。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月各フロアで、当直以外の全職員が参加する会議を開き、意見や提案、質問があれば、その都度対応している。また、意見できる雰囲気作りも出来ている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	御本人や家族の希望で、外出などの要望があった時は、勤務の時間や出勤スタッフ数など、調整をし、実現出来るように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	信頼関係を深めるためにも、職員を固定し利用者にとってなじみの職員が対応できるようにしている。離職や移動の時には、引継ぎの期間を十分に取り、利用者や家族が不安を感じないように配慮している。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては、性別、年齢に関係なく、その方の能力、活気、やる気などを考慮している。	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権に関する研修に参加している。スタッフ会議時に、資料を配布し、全職員が理解できるように取り組んでいる。	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修予定表を作成し、それぞれのスタッフが、能力に応じた研修を受け、レベルアップに繋がれるように努力している。新人スタッフがに入った時は、経験豊富なスタッフが個別に指導している。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームで2ヶ月に一度行う、地域運営推進会議時に、他の介護施設へ案内を出し、意見交換、改善点など話し合い、サービス向上に繋がるよう取り組んでいる。又、同じ地域のグループホーム及び、小規模多機能施設の管理者が集まり、勉強会を行っている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休日希望を聞きプライベートを充実できるようにシフトを考慮している。勤務時間中にもコーヒータ임을設け、気分転換が図れるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの資格取得に向けた支援を行い、職員の意向を重視した労働環境づくりに努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に面接へ行ったり、ケアマネージャーから情報を得て、生活状態を把握できる様にしている。又、入所前に体験入居をして頂き、不安のない本人主体の生活が送れる様支援している。	0		
	26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族との面談時「今困っていること」「今後はどうしたいのか」等について、詳しく伺い、密に話し合いながら、信頼関係を築く努力をしている。	0		
	27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、必要に応じて地域包括センターや地域のケアマネージャーに相談している。	0		
	28	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に体験入居期間を設け、徐々にホームの生活に馴染んで頂いている。又、アセスメントを充分に行い、ホームでの生活にスムーズに移行できるようにしている。ご家族にも出来るだけ面会に来て頂き安心して利用できる様に努めている。又、折に触れ、ご家族や利用者から、今までの生活状況を聞き取り、把握するように努めている。	0		
	15	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
29	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意分野や能力を發揮できる場面を設けることにより、お互い様と言う関係を築いている。一緒に過ごす中で、スタッフが家事で困っていたら、入居者の方から、手伝って下さったり、やり方を教えて下さる等、支えあう関係が出来ている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の身心状態を家族に密に伝えると共に家族の思いも傾聴し、本人の生活を一緒に支えるよう努力している。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が面会に来やすい様な声かけをしている。家族の面会が遠のいている時には、電話で近状報告をし、繋がりが途絶えない様、支援している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで住んでいた地域での行事の参加や、行きつけの美容室、かかりつけの病院、芝居見物等の外出支援、又、友人・知人との関係が途切れないよう年賀状を書かれるなど、支援をしている。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	洗濯物や掃除、食事の片付けなど、複数の利用者で一緒にお手伝いしていただき、利用者同士で自然に助け合う場面を作っている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所に移られた方に対しても、御家族に電話で今の状態を伺ったり、御家族からの相談に応じるなどの関係を続けるようにしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに、今の生活に対する希望や思いをお聞きし、本人の考えを把握するよう努めている。意思疎通が困難な方には、表情やその方の動きで、個人の気持ちを組み取るよう努めている。御家族からの情報も得るようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所される際、御家族・本人・ケアマネージャーから聞き取りをし、生活歴、その他の情報を収集し、個人のフェイスシートに記入している。入居後も、本人との会話の中から、情報を収集し、共有の話題とし、安心感を持って頂くよう努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人の生活リズムを生かした計画を立て、本人を有する力を十分に発揮して頂けるよう努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者やご家族の意向をケアプランに反映し、本人が最も自分らしく安心した生活が出来るよう、担当者会議で話し合っている。必要な場合はセンター方式の24時間シートなどを利用し、生活の質の向上を図っている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに、介護計画がご本人に合っているか、遂行できているかを観察・評価し、本人の状況や状態に合わせて本人、家族、主治医と相談しながら、現状に合うようにサービス計画を見直している。又、急に状態が変化した場合もその都度、サービス計画を見直している。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のバイタル、食事、排泄、入浴等、日常生活の状況を毎日記録している。又、勤務に入る前には、申し送りを行い、一人一人のその日の心身状態の確認を行っている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊、外出等においても、ご本人、ご家族の状況に合わせ、臨機応変に対応している。(例えば、外出の為、夕食をキャンセルしていたが、突然夕食を希望される場合の食事提供など)	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的な地域運営推進会議により、地域包括支援センターに当ホームのことをよく知って頂くことが出来るようになった。民生委員さんは、開設当初から交流があり、地域のことを教えて頂いたり、ボランティアさんを紹介して頂いている。消防訓練時には、消防機関の協力も頂いている。	0	
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問美容サービスや、歯科往診、週一回の歯科衛生士による、口腔ケア等も協力頂いている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括センターの職員に参加していただき、周辺情報や地域包括センターの役割等の話をして頂き協力を得ている。	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や、御家族が希望するかかりつけ医となっている。利用者や、御家族から受診の希望があれば、職員が代行し、速やかに受診できるよう支援している。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院のみやま内科の院長より認知症について詳しく助言指導を受けている。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	のみやま内科の看護師長に日頃の健康管理や医療面での相談をし、運営推進会議にも出席してもらっている。又、ホーム長に看護師を配置している。	0	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日常生活より、緊急時に入院先となる医療機関について、全てのスタッフに周知しています。日頃より、入居者の処方薬や既往歴も記録一元化して備え、通常スタッフは先方医療機関にも相談・打ち合わせを行っています。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族会を定期的に行い、ターミナルケアについて話し合っています。又、病氣治療が困難で、御家族の理解があった場合には、病院とも話し合い、ホームで最後の見送りを行えるよう密に病院との連携を図っている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	定期的な検診を皆様受診されています。持病の重症化を防ぎつつ、終末期の利用者が痛みを感じない生活、又は、痛みを和らげる対応を医師の指導の下で行っています。医療連携体制も整っており、急変時の対応も不安なく出来るようにしている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御本人からのご希望があった場合に、御家族とも連絡を取り合っており、メリット・デメリットを御本人と共にスタッフも共有しています。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に年長者として尊重する心構えを持ちつつ、家庭的な気分でリラックス出来るように対応しています。尿失禁や排泄の失敗等の記録は記号を使用しており、第三者が見られても判読出来ません。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	例えば、入居者の水分補給の為に飲み物、塗り絵、パズルなどのレクリエーションは、複数の選択肢から入居者に選んでいただき、職員が押し付けることはしていない。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの1日の基本的な流れは決まっているが、個人のその日の体調や要望を尊重し、支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行事や外出時には、普段と気分を変えて頂ける様、お洒落を楽しんで頂いている。馴染みの理容室を希望される方には、それに応じた対応をしている。訪問美容も定期的に利用している。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望するメニューがある時は、それを提供している。配膳・下膳の声かけをし、可能な限り、家事への参加を促し、共に食事を楽しむ事を基本としている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買物に同行して頂き、好みの必需品や、おやつ等を自分で購入して頂いている。要求があればアルコール類も飲酒して頂いている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿取りパット、オムツを使用している方の排泄チェック表を作成し、その方に合った時間でのトイレの声かけ、誘導を行っている。又、排泄サインを見逃さないよう、職員全員で観察し、排泄の支援を行っている。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日の中で入浴の時間帯は決めているが、その時間帯の中で、ご本人の希望を聞き入浴して頂いている。本人が入浴したくない場合は無理に入浴させず、本人の入浴ペースを守っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝や起床や起床時間は入居者の体調や気分に対応し、安眠を図る為、アイスノンや抱き枕で対応、時にひとり寝を寂しがらる入居者には添い寝をする等の支援を行っている。ご本人の睡眠ペースにあわせて無理に起こすことはせず、十分な睡眠がとれるよう配慮している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗いや食事の下準備、掃除など入居者の得意分野において、役割が決まっている。又、入居者の嗜好に応じた個別レクリエーションや散歩等の支援がある。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日々の買物の同行や買物レクリエーションを行って希望の物品を購入する機会を設け、お金を所持している。入居者にの預かり金には、おこずかい帳を付けて、個人管理を行う支援をしている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員が同行出来よう時間を工夫し、散歩や買物、ファミリーレストランへおやつを食べに行くなどの支援を行っている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回の外出、温泉、観劇など入居者の意見も参考にの外出先の決定や個別での買物やコンサートに出掛ける機会を設け、楽しみへの支援がある。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望がある場合は、常時連絡することが可能であり、毎月の通信には入居者の手書きの手紙やレクリエーションで描いた絵などの作品を同封し、家族との繋がり支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	日中、家族・知人が来訪された場合、居室カリビングかの希望を伺い、ゆっくり面会出来るように配慮している。又、他の入居者が面会の支障にならないように配慮している。又、事前に連絡を頂ければ、早朝・深夜の面会も対応できる。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	どのような行為、声かけが拘束にあたるかを全職員が共通認識として持っている。転倒による骨折の危険性のある利用者に対しては、スタッフが手引きで歩行介助する等、拘束せず対応している。また、安全上止む終えず拘束を行う場合、ご家族に説明をし、理解頂き、同意書を記入して頂く。	0		
		68 外部評価 29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	普段は施錠せず、玄関のセンサーで外出の気配を察知し、さりげない声かけと見守りで不慮の単独行動、外出を未然に防いでいる。単独外出の傾向にある入居者については、スタッフ全員が常に所在の確認を行い、不穏時には、大好きなおやつや音楽で落ち着いていただけるように努めている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して、利用者全員の所在を把握している。見守りが必要な方は、スタッフの目の届く場所で過ごして頂き、安全に配慮している。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の居室には、それぞれ好きな物を持って来て頂いている。危険性のある物は、スタッフが預かり、管理を行っている。薬なども、スタッフが管理し、使用する時にお渡ししている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救命救急の講習に年2回参加している。転倒、離脱未遂など、ヒヤリハット、事故報告書とその都度記入し、全スタッフで閲覧している。今後の課題、改善点などを検討し、その後の事故再発のないよう対応している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時に備え、マニュアルを作成し、いつでも閲覧出来るようにしている。又、定期的に救命救急の講習に参加している。	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回入居者と共に避難訓練を実施している。又、消防署の協力で消火器の使い方などを訓練している。更に地域運営推進会議で町内会に協力を呼びかけている。又、非常用の備品や食料品を常に準備している。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	3ヶ月に一度、利用者一人ひとりに起こりえるリスクについてミーティングで話し合い、家族に説明を行っている。又、随時変化があれば、連絡を取り合い対策を行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の体調の変化や異変を早期に発見する為に、毎朝、バイタルチェックを行っている。また、顔色や食欲、感情や動作で体調の変化を察知し、管理者、ホーム長、主治医の指示を仰いでいる。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の用紙を個人別にファイルし、管理している。薬の用法や用量は、全スタッフが分かるよう、伝達ノートにて申し送りの徹底を行っている。又、服薬の確認を行う為に、記録表を作成している。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘改善に向けて、体操を行ったり、便秘に効く食材を取り入れるなどして、自然排便があるように努力している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎週木曜日、歯科医の往診があり、口腔ケア入れ歯の調節を行っている。毎食後、口腔ケア、入れ歯洗浄を行うよう、声かけ、介助し、口腔内の清潔を保っている。	0	
		79 外部評価 31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取回数を個人ごとに記録している。糖尿病、肥満気味の方などを考慮し提供する食事量をコントロールしている。お茶が苦手な方には、他の飲み物で水分を摂取して頂けるように努力している。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防マニュアルを全職員が所持しておりいつでも見ることができているようにしている。インフルエンザ予防接種は入居者、職員共、受けている。	0	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため、台所での手洗いを徹底している。調理器具、布巾は毎日消毒している。冷蔵庫内の清掃、食品の賞味期限確認も実施している。職員は毎月大腸菌検査を行っている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にお花など飾り、明るくて親しみやすい雰囲気作りを行っている。	0	
		83 外部評価 32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所は利用者と共同で調理出来る様、十分な広さを取り、オール電化で対応している。浴室はプライバシーを考慮し個別浴槽で脱衣所にはカーテンをしている。テレビや音楽の音はその時の状況に応じて調節している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには楽しく食事したり、くつろいだり、語らいたり、リラックスした気分で多目的に利用出来るよう、家庭的な雰囲気を有しており、スペースや家具などの配置を考慮している。	0		
		85 外部 評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、生活暦や身体の状態に合わせて、明るく落ち着いた雰囲気となっている。壁際には、本人の好きな絵画や写真、花の鉢をおいている。又、入居後も本人の希望で、仏壇、冷蔵庫などを搬入されている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室、トイレ、浴室等、季節や気候に合わせて、湿度や気温が調節出来る空調設備があり、利用者の状況に応じて、換気、通風等、こまめに行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下と居室、浴室と脱衣場、トイレと廊下との段差がなく、トイレ内、廊下、浴室には手すりが設置されている。トイレ、洗面台は、車椅子でも対応できるタイプを設置している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、居室等の扉には表札を貼っており、場所違いを防いでいる。リビングには、目の付く所に時計を設置しており、生活リズムを崩さないようにしている。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周やベランダには、草花を育てたり、夏には花火等を行っている。また、居室内から庭木や草花を楽しめるよう、大きな窓となっており、家庭的な雰囲気作りの配慮をしている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。